

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.48
令和3年3月9日(火)
文責：校長 大槻浩二

6年生ありがとう集会

3月5日(金)に「6年生ありがとう集会」を行いました。例年ならば、体育館で行っていた集会ですが、今回は密になることを避け、リモート集会として実施しました。何とか6年生に感謝の気持ちを伝えたいという想いから内容を工夫して実施しました。

各学年では、集団登校でお世話になったことや、朝のボランティア活動、運動会をはじめとする各種行事でのリーダーとしての活躍に感謝を伝える発表が行われました。

各学年の発表は、事前に録画しておき、放送しました。とても素晴らしい内容でした。感動いっぱいでした！

その後、学校旗の継承式を運営委員会で行い、6年生から5年生へリーダーが引き継がれました。最後に6年生がお礼の気持ちを込めて、メッセージと歌のプレゼントをしてくれました。

今年度は、保護者への参観案内はできなかったため、各学年の発表はホームページから動画が視聴できます。子どもたちのすばらしい発表をぜひご覧ください！



総合防災避難訓練を実施しました！

3月1日に総合防災避難訓練を実施しました。杉谷地区消防団の方々にたくさん参加していただき、訓練の様子について指導していただきました。

今回は地震の後、調理場から火災が発生した想定です。地震が発生し、避難経路が通行できなかった場合や、負傷者の避難、行方不明者の搜索など、子どもたちの避難の仕方だけでなく、職員の動きも確認しました。

実施後は、消防団の方々から指導をいただき、今後の訓練にさっそく生かしていきたいと思います。

今年の3月11日で東日本大震災から10年目を迎えます。最近は、地震も増えているように思います。いつ起こるかわからない災害に備えて、避難場所など、家族でも話し合っておきましょう。



第2回杉谷を愛する会(学校支援会議)を実施しました。

2月25日(木)に第2回目の「杉谷を愛する会」(学校支援会議)を開催しました。今年度は、なかなか学校の様子を参観していただく機会がなかったため、2年生と6年生の授業参観を見ていただきました。

その後、今年度の反省と、来年度の計画について話し合いました。また、保護者と地域関係者の学校評価についても結果を考察し意見の交換を行いました。

来年度は、コロナ感染が終息し、地域の方々との交流が増えることを願うばかりです。



「がんばれ」の次は、「遊びに来たよ」のひと言が、東北の力になる。

東日本大震災から、十度目の三月十一日を迎える。防波堤の建築や土地のかさ上げなど、ハード面の復興は進んでいるようだ。

これから必要なのは、やはり「人」だろう。いかに人が戻るか。いかに人が訪れるか。コロナウイルス感染症により、人が自由に動くことができなくなった。復興の妨げになったのは間違いない。

感染が終息したら、自分の足で出向き、自分の目で復興の現状を見たい。そして、自分の耳でそこに暮らす人の声に耳を傾けたい。

本校でも総合避難訓練を実施した。

「訓練の結果は、百点が零点しかない」と話した。

一人でもふざけたり真剣さがなかったら零点だ。

訓練は、常に百点を目指す。

本校は、雲仙普賢岳災害の被害を受けた地域だ。

全国の支援により復興した街である。

そこに住むものとして、過去から

学び、未来に伝える。

そんな子どもを育てたい。



※ 最後の授業参観は、学習のまとめの発表であった。どの学級も工夫があり、自分たちの成長を見せることができた。発表の機会は少なかったが、確実に成長を感じて感動した！



第四小学校ホームページ

【URL】 <https://4sho.shimabara-edu.com/>

※ 動画も up して、より魅力的な HP をめざします！



←QR コードで
ジャンプ！